# 業務委託設計書

業 事 年 度 令和 7年度

月 令和 年 月 設

算 科 予 目 款 項

目

節

履 行 所 京都市左京区八瀬秋元町他地内

路線名又は河川名等

託 業 務 名 トンネル保守点検業務委託 (八瀬トンネル、二ノ瀬トンネル)

履 行 期 間 契約日の翌日から令和 8年2月27日まで

業課 (所) 名 左京土木みどり事務所

号

数

番

口

務

更

業

変

払 金 支 出 単価使用年月 令和 年 月

歩掛適用年月 令和 年 月

基準適用年月 令和 年 月

地 区

チェック欄

委託概要	トンネル保守点検業務委託				式	1
	非常用設備(年点検)	式	1	照明設備(年点検)	式	1

### 委託理由

本業務は、左京土木みどり事務所管内の八瀬トンネル及び二ノ瀬トンネルの非常用設備及び照明設備の定期点検を行うため、保守点検業務委託を行うものである。

				設 計 額					請負額										
			金	額	増	減	額		金	額		f	曽 🏻	咸	額				
業	務費	前回		円	円 —				円					Ш					
未	来 伤 賃	今回		円 ' '				円		1 1	1								
	業務価格	前回		円		ш				円	ш		Ш						
内	未 幼 岡 竹	今回		円					円			1			1 1				
訳	※ 弗 绐 扣 氺 姷	前回		円		Ш	ш							円					Ш
	消費税相当額	今回		円			L1				円								

# 京都市 建設局

# 積算参考資料(間接費補正一覧)

単	価	使	用	年	月	2025年8月
歩	掛	適	用	年	月	2025年8月
基	準	適	用	年	月	2025年8月
単		価	地		区	2601: I地区

### 見積参考資料1

本工事の積算で採用した見積単価は下表のとおりです。

名 称	規格	単位	採用単価(円)
安全費	標識車	台	14,500
安全費	最後尾車両	扣	8,760
安全費	無線機(基本料+賃貸料)(15日分)	加	8,800

### 見積参考資料2

本工事で採用した見積歩掛は、下記のとおりです。

### 【材料費】

名 称	規格	単位	数量	摘 要
	2%	式	1.0	照明設備

### 【直接経費】

名 称	規格	単位	数量	摘要
直接経費率	15%	式	1.0	照明設備

### 【共通仮設費】

名 称	規格	単位	数量	摘 要
共通仮設費率	39%	式	1.0	照明設備

#### 【点検整備間接費】

名 称	規格	単位	数量	摘要
点検整備間接費率	160%	式	1.0	照明設備

#### 見積参考資料3

本工事で採用した見積歩掛は、下記のとおりです。

### 【直接労務費(年点検) [共通]】

名 称	規格	単位	数量	摘 要
警察本部他警報装置	点検設備工	h	24.0	非常用設備
清掃作業	点検設備工	h	1.8	非常用設備
[月]市[上来	普通作業員	h	0.2	非常用設備

### 【直接労務費(年点検) [八瀬トンネル]】

名 称	規格	単位	数量	摘 要
照明全般	点検設備工	h	32.99	照明設備
パッリ 王川文	普通作業員	h	3.67	照明設備
照度計(自動調光装置)	点検設備工	h	2.41	照明設備
	普通作業員	h	0.27	照明設備
昭田生成般	点検設備工	h	2.41	照明設備
照 97 时1 PP 盆	普通作業員	h	0.27	照明設備
照明制御盤 照明用低圧配電盤	点検設備工	h	2.41	照明設備
	普通作業員	h	0.27	照明設備

## 【直接労務費(年点検) [二ノ瀬トンネル]】

名 称	規格	単位	数量	摘要
照明全般	点検設備工	h	23.62	照明設備
1871主版	普通作業員	h	2.62	照明設備
昭冉卦(白勳調水壮黑)	点検設備工	h	1.73	照明設備
照度計(自動調光装置)	普通作業員	h	0.19	照明設備
昭田生活般	点検設備工	h	1.73	照明設備
照97时仰盆	普通作業員	h 23.62 照明設( h 2.62 照明設( h 1.73 照明設( h 0.19 照明設( h 0.19 照明設( h 0.19 照明設( h 1.73 照明設( h 1.73 照明設(	照明設備	
照度計(自動調光装置) 照明制御盤 照明用低圧配電盤	点検設備工	h	1.73	照明設備
	普通作業員	h	0.19	照明設備

## 最低制限価格の算定について

- ○直接工事費(※1)=材料費(※2)+直接経費(※2)+直接労務費(年点検)(※2)
- ○共通仮設費(※1)=共通仮設費(※2)
- ○現場管理費(※1)=現場管理費(※2)+点検整備間接費(※2)
- ○一般管理費(※1) =一般管理費等(※2)

(※1): 最低制限価格算定に係る額

(※2):予定価格の算定に用いた積算価格

委託名 トンネル保守点検業務委託	(八瀬トンネル、二ノ瀬	[トンネル)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単 位	数量	単 価	金額	摘 要	
点検整備費							
		式	1				
点検整備価格			<del>-</del>				
		式	1				
点検整備原価(八瀬トンネル)							
		式	1				
材料費	非常用設備						
		式	1			内1号	
材料費	照明設備						
		式	1			内2号	
直接経費	非常用設備						
		式	1			内3号	
直接経費	照明設備						
		式	1			内4号	
直接労務費(年点検)	非常用設備						
		式	1			内5号	
直接労務費(年点検)	照明設備						
		式	1			内6号	

委託名 トンネル保守点検業務委託(八瀬トンネル、二ノ瀬トンネル)							
工事区分•工種•種別•細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
共通仮設費(率計上)							
		式					
		14	1			内	17号
共通仮設費(積上)							
		<del></del>	1				
► 1 \ +\ \ \ +\ \		式	1			 	18号
点検整備間接費							
		式	1				
点検整備原価(二ノ瀬トンネル)							
		式	1				
材料費	非常用設備						
		式	1			内	113号
材料費	照明設備						
		15					
		式	1			内	114号
直接経費	非常用設備						
		式	1				.15 🗎
本 14 VO #	077 n□ =n, /#±	八	1				115号
直接経費	照明設備						
		式	1			大	116号
直接労務費(年点検)	非常用設備		1			r.	110.7
直接刀扮頁(十点帜)	クド ft /T1 以 l/ft						
		式	1			内	117号

京都市

直接旁務費(年点検) 照明設備		,, ,	1	<u> </u>	,		
大通仮設費(率計上)     式     1     内19号       共通仮設費(積上)     式     1     内20号       点検整備間接費     式     1     月20号       減点検・整備費     式     1     1       現場管理費     式     1     1       点検整備原価     式     1     1       小般管理費等     式     1     1       点検整備価格     式     1     1       消費税額及び地方消費税額     式     1     1	直接労務費(年点検)	照明設備					
共通仮設費(韓上)     式 1       共通仮設費(積上)     式 1       点検整備間接費     式 1       純点検・整備費     式 1       現場管理費     式 1       点検整備原価     式 1       一般管理要等     式 1       点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額							
共通仮設費(積上)     式 1     内10号       点検整備間接費     式 1     内20号       純点検・整備費     式 1     一般管理費       式 1     二     二       小股管理費     式 1     二       上於整備原価     式 1     二       上於整備価格     式 1     二       消費稅額及び地方消費稅額     二     二			式	1			内18号
共通仮設費(積上)     式 1     内10号       点検整備間接費     式 1     内20号       純点検・整備費     式 1     一般管理費       式 1     二     二       小股管理費     式 1     二       上於整備原価     式 1     二       上於整備価格     式 1     二       消費稅額及び地方消費稅額     二     二	土通仮設費(率計上)						
共通仮設費(積上)     式     1     A20万       点検整備間接費     式     1       契場管理費     式     1       点検整備原価     式     1       一般管理費等     式     1       点検整備価格     式     1       消費稅額及び地方消費稅額     式     1	八型队队员(干川工/						
点検整備間接費     式 1       純点検・整備費     式 1       現場管理費     式 1       点検整備原価     式 1       一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費稅額及び地方消費稅額     式 1			式	1			内19号
点検整備間接費     式 1       純点検・整備費     式 1       現場管理費     式 1       点検整備原価     式 1       一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費稅額及び地方消費稅額     式 1	共通仮設費(積上)						
点検整備間接費     式 1       純点検・整備費     式 1       現場管理費     式 1       点検整備原価     式 1       一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額     式 1							
式 1			式	1			内20号
式 1	点検整備間接費						
<ul> <li>純点検・整備費</li> <li>式 1</li> <li>現場管理費</li> <li>式 1</li> <li>点検整備原価</li> <li>式 1</li> <li>一般管理費等</li> <li>式 1</li> <li>点検整備価格</li> <li>式 1</li> <li>消費税額及び地方消費税額</li> </ul>							
現場管理費       式 1       点検整備原価       式 1       一般管理費等       式 1       点検整備価格       式 1       消費税額及び地方消費税額			式	1			
現場管理費       式 1       点検整備原価       式 1       一般管理費等       式 1       点検整備価格       式 1       消費税額及び地方消費税額	純点檢•整備費						
現場管理費   式 1   1   1   1   1   1   1   1   1							
式 1       点検整備原価       式 1       一般管理費等       式 1       点検整備価格       式 1       消費税額及び地方消費税額			式	1			
式 1       点検整備原価       式 1       一般管理費等       式 1       点検整備価格       式 1       消費税額及び地方消費税額	現場管理費						
点検整備原価     式 1       一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額     式 1	) <u>-</u>						
一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額     式 1			式	1			
一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額     式 1	点檢整備原価						
一般管理費等     式 1       点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額     式 1	THE STATE OF THE S						
式 1       点検整備価格       式 1       消費税額及び地方消費税額			式	1			
式 1       点検整備価格       式 1       消費税額及び地方消費税額							
点検整備価格     式 1       消費税額及び地方消費税額	147 H 1 14						
式     1       消費税額及び地方消費税額     式			式	1			
式     1       消費税額及び地方消費税額     式	点檢整備価格						
消費税額及び地方消費税額	VIVINATION IN THE						
消費税額及び地方消費税額			式	1			
	消費税額及び地方消費税額						
			式	1			

		<b>у</b>		1
点検整備費				
	式	1		
				<del>- 1</del> 7

# 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 材料費 (八瀬トンネル) 非常用設備 単位 式 単位数量 単価 名称•規格 摘 要 条件 単位 数 量 単 価 金 額 補助材料費 計

# 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 材料費 (八瀬トンネル) 単位数量 照明設備 単位 式 単価 名称•規格 摘 要 条件 単位 数 量 単 価 金 額 補助材料費 式 計

# 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接経費 (八瀬トンネル) 式 単位数量 非常用設備 単位 単価 名称•規格 条件 単 位 数 量 金 額 摘 要 単 価 直接経費(率計上分) 式 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接経費(八瀬トンネル) 式 照明設備 単位 単位数量 単価 名称•規格 条件 単 位 数 量 摘 要 単 価 金 額 機械経費 式 交通管理費 式 直接経費(率計上分) 式 計

#### 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接労務費(年点検) 5 非常用設備 単位 式 単位数量 単価 (八瀬トンネル) 摘 名称•規格 条件 単 位 数 量 単 価 金 額 要 非常用設備 非常用電話 2.02 h 点検整備工 非常用電話 0.22 h 普通作業員 押ボタン式通報装置 2.02 h 点検整備工 押ボタン式通報装置 h 0.22 普通作業員 非常用警報装置 h 0.63 点検整備工 非常用警報装置 0.07 普通作業員 h 警察本部他警報装置 24.0 h 点検整備工 警察本部他警報装置 普通作業員 h 清掃作業 1.80 h 点検整備工

# 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接労務費(年点検) (八瀬トンネル) 式 5 非常用設備 単位 単位数量 単価 摘 要 名称•規格 単 位 数量 単 価 条件 金 額 清掃作業 0.20 h 普通作業員 計

#### 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接労務費(年点検) 式 6 照明設備 単位 単位数量 単価 (八瀬トンネル) 摘 要 名称•規格 条件 単 位 数 量 単 価 金 額 照明設備 照明全般 h 32.99 点検整備工 照明全般 3.67 h 普通作業員 照度計(自動調光装置) 2.41 h 点検整備工 照度計(自動調光装置) h 0.27 普通作業員 照明制御盤 2.41 h 点検整備工 照明制御盤 0.27 普通作業員 h 照明用低圧配電盤 2.41 点検整備工 h 照明用低圧配電盤 0.27 普通作業員 h 計

# 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 共通仮設費(率計上) 単位 式 単位数量 単価 (八瀬トンネル) 名称•規格 条件 単位 数 量 単 金 額 摘 要 価 共通仮設費(率計上分) 式 非常用設備 共通仮設費(率計上分) 式 照明設備 計

単価使用年月

## 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 共通仮設費(積上) 単位 式 単位数量 単価 (八瀬トンネル) 名称•規格 条件 単位 数 量 単 価 金 額 摘 要 安全費 式 内11号 年点検 派遣費 式 内12号 年点検 計

単価使用年月

## 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 機械経費 単位 式 単位数量 単価 9 (八瀬トンネル) 名称•規格 条件 単位 数 量 価 摘 要 単 金 額 トラック架装リフト車,ブーム 型幅広旋回タイプ作業床 高所作業車運転 高8~10m未満 日 年点検 単1号 計

単価使用年月

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 交通管理費 内 10 単位 式 単位数量 単価 (八瀬トンネル) 名称•規格 条件 単位 数 量 価 金 摘 要 単 額 交通誘導警備員B 人日 6 照明設備

# 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 安全費 (八瀬トンネル) 内 11 号 式 単位数量 単価 単位 名称•規格 条件 単位 数 量 価 金 摘 要 単 額 標識車 台 最後尾車両 台 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 派遣費 (八瀬トンネル) 内 12 号 式 単位 単位数量 単価 名称•規格 条件 単 位 量 摘 要 数 単 価 金 額 点検設備工 賃金 h 往復時間×人数 点検設備工 の合計時間÷8(h/d) 日当 9 ライトバン 台 1.5L 年点検 単2号 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 材料費 (二ノ瀬トンネル) 内 13 号 非常用設備 単位 式 単価 単位数量 名称·規格 条件 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要 補助材料費 式 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 材料費 (二ノ瀬トンネル) 内 14 号 式 単価 照明設備 単位 単位数量 名称·規格 条件 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要 補助材料費 式 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接経費 (二ノ瀬トンネル) 内 15 号 非常用設備 単位 式 単価 単位数量 名称·規格 条件 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要 直接経費(率計上分) 式 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接経費 (二ノ瀬トンネル) 内 16 号 照明設備 単位 式 単位数量 単価 名称•規格 条件 単位 数 量 価 額 摘 要 単 金 機械経費 式 内21号 交通管理費 内22号 直接経費(率計上分) 式 計

#### 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接労務費(年点検) 内 17 号 非常用設備 単位 式 単位数量 単価 (二ノ瀬トンネル) 名称•規格 条件 単位 数 量 価 要 単 金 額 非常用設備 非常用電話 3.64 点検整備工 h 非常用電話 h 0.40 普通作業員 押ボタン式通報装置 3.64 h 点検整備工 押ボタン式通報装置 0.40 h 普通作業員 非常用警報装置 1.14 h 点検整備工 非常用警報装置 h 0.13 普通作業員 消火器 4.47 h 点検整備工 消火器 0.50 h 普通作業員 警察本部他警報装置 24.0 h 点検整備工 警察本部他警報装置 h 普通作業員

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接労務費(年点検) (二ノ瀬トンネル) 内 17 号 非常用設備 式 単位 単位数量 単価 名称•規格 条件 単 位 数 量 単 価 金 額 摘 要 清掃作業 h 1.8 点検整備工 清掃作業 h 0.2 普通作業員 計

#### 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 直接労務費(年点検) 内 18 号 照明設備 単位 式 単位数量 単価 (二ノ瀬トンネル) 名称·規格 条件 単位 数 量 単 価 額 摘 要 金 照明設備 照明全般 23.62 点検整備工 h 照明全般 h 2.62 普通作業員 照度計(自動調光装置) 1.73 点検整備工 h 照度計(自動調光装置) h 0.19 普通作業員 照明制御盤 1.73 h 点検整備工 照明制御盤 h 0.19 普通作業員 照明用低圧配電盤 1.73 h 点検整備工 照明用低圧配電盤 0.19 h 普通作業員 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 共通仮設費(率計上) 内 19 号 式 単位 単位数量 単価 (二ノ瀬トンネル) 摘 要 名称•規格 条件 単 位 数量 単 価 金額 共通仮設費(率計上分) 式 非常用設備 共通仮設費(率計上分) 式 照明設備 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 共通仮設費(積上) (二ノ瀬トンネル) 式 内 20 単位 単位数量 単価 摘 要 名称•規格 条件 単 位 数量 単 価 金 額 安全費 式 年点検 内23号 派遣費 式 年点検 内24号 計

## 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 機械経費(二ノ瀬トンネル) 内 21 号 式 単位 単位数量 単価 摘 要 名称•規格 条件 単 位 数量 単 価 金 額 トラック架装リフト車,ブーム型幅広旋回タイプ作業床高 高所作業車運転 8~10m未満 日 年点検 単3号 計

# 単価使用年月 一式当り内訳書 交通管理費 (二ノ瀬トンネル) 内 22 号 式 単位 単位数量 単価 名称·規格 摘 要 条件 単 位 数量 単 価 金 額 交通誘導警備員B 人日 照明設備 計

#### 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 安全費 式 23 単位 単位数量 単価 (二ノ瀬トンネル) 名称•規格 条件 数量 摘 要 単 位 単 価 金 額 標識車 台 最後尾車両 台 H 700(mm) (八瀬トンネル分含む) カラーコーン 基本料 個 165 H 700(mm) (八瀬トンネル分含む) 賃貸料(最低保証期間15日) カラーコーン 個 165 ゴム製 (八瀬トンネル分含む) コーンウェイト 基本料 個 165 ゴム製 (八瀬トンネル分含む) 賃貸料(最低保証期間15日) コーンウェイト 個 165 AC 100V(取付用皿付き) (八瀬トンネル分含む) 回転灯 基本料 基 AC 100V(取付用皿付き) (八瀬トンネル分含む) 回転灯 賃貸料(最低保証期間15日) 基 全面反射式, 塩ビ板, 枠共 (八瀬トンネル分含む) 標識 基本料 枚 18

#### 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 安全費 式 単位 単価 内 23 単位数量 (二ノ瀬トンネル) 名称•規格 条件 単位 数量 単 価 摘 要 金 額 全面反射式,塩ビ板,枠共 (八瀬トンネル分含む) 標識 賃貸料(最低保証期間15日) 枚 18 $900 \times 600 (mm)$ (八瀬トンネル分含む) 矢印板 基本料 枚 900×600(mm) (八瀬トンネル分含む) 矢印板 賃貸料(最低保証期間15日) 枚 8 (八瀬トンネル分含む) 基本料+賃貸料 無線機 (最低保証期間15日) 台 計

# 単価使用年月 一式当り内訳書 歩掛適用年月 労務費調整係数 派遣費 (二ノ瀬トンネル) 内 24 号 式 単位 単位数量 単価 名称•規格 条件 単 位 数量 単 価 額 摘 要 金 点検整備工 賃金 8.1 h 往復時間×人数 点検整備工 合計時間÷8(h/d) 日当 ライトバン 1.5L 台 年点検 単4号 計

京都市

# トンネル保守点検業務委託 (八瀬トンネル、二ノ瀬トンネル)

特記仕様書

京都市建設局左京土木みどり事務所

# 目 次

#### 第1章 総則

第1条 目的

第2条 関係法令及び条例の遵守

第3条 実施時期

第4条 業務範囲及び委託施設

第5条 前払金

第6条 緊急時の対応

第7条 一般心得

第8条 履行上の責任

第9条 主任技術者

#### 第2章 物品等の負担

第10条 受託者の負担

#### 第3章 保守点検業務

第11条 業務の対象設備

第12条 施設点検業務の内容及び点検回数

第13条 業務の実施時期

第14条 業務の履行

第15条 臨機の措置

第16条 安全費

第17条 疑義事項

#### 第4章 提出書類

第18条 業務計画書

第19条 業務打合簿

第20条 点検結果報告書

第21条 写真管理

#### (別添資料)

1. 本業務の対象となる施設一覧 八瀬トンネル (別表-1)、二ノ瀬トンネル (別表-2)

2. チェックシート (別表-3)、点検結果報告書 (別表-4)

#### 第1章 総則

#### 第1条(目的)

本特記仕様書(以下「本仕様書」という。)は、京都市(以下「甲」という。)が 管理する八瀬トンネル及び二ノ瀬トンネルの施設(以下「施設」という。)の点検整 備業務(以下「本業務」という。)を、甲から委託を受けた者(以下「乙」という。) が実施する場合に必要な事項を定めることを目的とする。

#### 第2条 (関係法令及び条例の遵守)

本業務の実施にあたっては関係法令及び条例等を遵守しなければならない。

#### 第3条 (実施時期)

本業務の実施時期は、契約日の翌日から令和8年2月27日までとする。

#### 第4条(業務範囲及び委託施設)

本業務の範囲は、別表-1及び別表-2「本業務の対象となる施設一覧」に示す 各設備の損傷および異常の発見、機能良否等の判定記録までであり、目視・触診・ 検診・機器による計測等を行い、点検記録作成・処置立案までの一連の作業を行う 「点検整備」、設備の機能維持のために定期的または点検結果に基づき実施する調 整・部品交換などの作業を行う「保守作業」である。

本契約の委託箇所及び委託施設は次のとおりとする。

- (1) 委託場所…京都市左京区八瀬秋元町 地内 委託施設…八瀬トンネル(延長:225m)
- (2) 委託場所…京都市左京区静市野中町他 地内 委託施設…二ノ瀬トンネル (延長:828m)

#### 第5条(前払金)

業務委託契約書について 契約書第40条関係 前払金は、請負代金の30%以内とする。

#### 第6条 (緊急時の対応)

地震・出水・火災・落雷・その他の要因により、施設・設備・機器に何らかの異常が発生する恐れがある場合においては、監督職員より臨時点検を指示することがある。

その際には、速やかに点検もしくは整備の履行体制を確立し、迅速な機能確認・

復旧に努めるものとする。

緊急時対応にかかる費用は、監督職員による出動指示の時点から現場撤収までの 時点で精算するものとし、設計変更の対象とする。

#### 第7条(一般心得)

本業務を実施するにあたっては、次の各号に掲げる事項を十分に心掛けなければならない。

- (1) 契約書・設計図書及び関係諸法規を十分に理解するとともに、適切かつ安全に業務を遂行すること。
- (2) 施設の構造、動作、操作方法及び配電・通信系統等を十分に理解し、これらの状態が点検時において通常と異なっている場合は、速やかに監督職員に報告するとともにその指示を受けること。
- (3) 施設の維持改善、利用度の向上及び事故の未然防止等、重要と思われる事項 については監督職員に意見を付して報告すること。

#### 第8条 (履行上の責任)

業務の履行後に生じた不良箇所で明らかに請負者の責に起因すると認められるものについては、請負者の責任において速やかに措置するものとする。

#### 第9条(主任技術者)

- (1) 請負者は、主任技術者を定め書面により発注者に通知するものとする。
- (2) 主任技術者は、業務に関する一切の事項を処理するものとする。
- (3) 主任技術者は、業務の履行に関し必要な能力と経験を有する者でなくてはならない。

#### 第2章 物品等の負担

#### 第10条 (受託者の負担)

本業務において次の各号に掲げる材料及び器具等については、乙の負担とする。

- (1)油脂類等の消耗材料品(潤滑油等)
- (2) 測定器具等

#### 第3章 保守点検業務

#### 第11条 (業務の対象設備)

本業務の対象となる施設は、別表-1、2に示すものとする。

#### 第12条(施設点検業務の内容及び点検回数)

本業務は、施設を常に正常な状態に維持する業務であり、その点検内容等は別表 - 3に示すものとし、点検回数は年点検として1回実施するものとする。又、具体的な実施月については監督職員の承諾を得るものとする。

#### 第13条 (業務の実施時間)

本業務の実施時間は、原則として土・日・祝祭日を除く平日の昼間時間帯とする。 又、業務実施の都合により、平日以外に作業を行う必要がある場合は、あらかじめ 監督職員の承諾を得なければならない。

#### 第14条 (業務の履行)

本業務を実施するにあたり、次の各号に掲げる事項に留意するとともに、迅速かつ安全に作業を行うものとする。

- (1) 本業務に係る各作業工程については、監督職員に提出し承諾を得ること。
- (2) 点検者は、常に作業環境の整備等に留意すること。
- (3) 作業の実施にあたっては、監督職員に対して作業開始、終了を連絡すること。
- (4) 点検者は、設備の表示及び警報音等に注意し、その状態を把握しておくこと。
- (5) 道路上の作業においては、常に交通安全対策に心掛け、一般利用者の安全確 保及び点検者の安全に万全を期すること。
- (6) 万一作業中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に報告するとともに、 速やかに処理すること。
- (7) 作業終了後は、設備の操作モードを点検前と同じ状態に戻すこと。但し、点検前のモードに戻すことが適切でない場合は、監督職員にその旨を連絡し承諾を得ること。

#### 第15条 (臨機の措置)

業務の遂行にあたり、点検設備に重大な故障を発見し、又は発生が予想される場合は、速やかに監督職員に報告するものとする。ただし、緊急を要する場合には応急措置を行った後、直ちにその状況及び措置内容等を監督職員に報告するものとする。

#### 第16条(安全費)

本業務における安全対策として以下の通り行うものとする。

#### (1) 八瀬トンネル

○交通誘導員B : 6人/日×1日

○標識車 : 2台/日×1日
 ○最後尾車 : 1台/日×1日
 ○加ラーコーン : 45個/日×1日
 ○標識 : 14枚/日×1日
 ○回転灯 : 2基/日×1日
 ○矢印板 : 8枚/日×1日
 ○無線機 : 6台/日×1日
 ○コーンウェイト : 45個/×1日

#### (2) 二ノ瀬トンネル

○交通誘導員B : 7人/日×1日

○標識車: 2台/日×1日
 ○最後尾車: 1台/日×1日
 ○加ラーコーン: 165個/日×1日
 ○標識: 18枚/日×1日
 ○回転灯: 2基/日×1日
 ○矢印板: 8枚/日×1日
 ○無線機: 7台/日×1日
 ○コーンウェイト: 165個/×1日

※安全費については、主に交通規制に伴い使用する保安用品と計上している。

八瀬トンネルにおける保安用品(カラーコーン、コーンウェイト、工事標識、回転灯、矢印板、無線機について、保安用品の保証期間が15日のため、二ノ瀬トンネルで一括計上している。したがって、15日以内に両トンネルの点検を実施すること。

#### 第17条 (疑義事項)

本業務の実施にあたり、本仕様書に明示のない事項において疑義が生じた場合は速やかに監督職員と協議し、これを定めるものとする。

#### 第4章 提出書類

#### 第18条(業務計画書)

本業務の実施にあたり業務計画書を作成し、監督職員に提出しその承諾を受ける。

#### 第19条(業務打合簿)

監督職員と本業務に関する打ち合わせを行った時は、「業務打合簿」に必要事項を 記載するとともに、その都度監督職員に提出するものとする。

#### 第20条(点検結果報告書)

点検結果報告書については、別表-4により作成し、監督職員に提出するものと

する。ただし、点検項目が網羅されていれば、様式等は問わない。

# 第21条(写真管理)

本業務の写真管理については、デジタルカメラ(100万画素以上)を使用し、 主要機器の点検中を各1枚、不具合箇所が発見された場合は、各不具合箇所が分か る写真を必要枚数撮影し、A4用紙に印刷を行い提出するものとする。

# R7 点検対象設備リスト

点検対象設備名	単 位	数量	仕様、規格等	設置年月日	備 考
受信制御機	台	1	型式:RC061K、製番:18662	1991年7月	
モニター盤(左京土木事務所)	台	1	型式:MIRC061K、製番:18733	1991年7月	
モニター盤(京都府警)	台	1	型式:MIRC061K、製番:18663	1991年7月	
主制御装置	台	1	型式:DMC061K、製番:18660	1991年7月	
副制御装置	台	1	型式:DMC061K、製番:18661	1991年7月	
警報表示板(主)	台	1	型式:DMC061K、製番:18658	1991年7月	
警報表示板(副)	台	1	型式:DMC061K、製番:18659	1991年7月	
押釦発信機	台	5	型式:P-Ⅱ、製番:34784	2000年3月	
非常電話機	台	2	型式:RE-4号、製番:TR005153	2007年10月	
非常電話案内板	台	6			
照明設備	台	51		2023年3月	
自動調光装置	台	1		2023年3月	
受光器	台	1		2023年3月	
照明分電盤	台	1	_	2023年3月	

# R7 点検対象設備リスト

点検対象設備名	単 位	数量	仕様、規格等	設置年月日	備 考
警報表示板(主制御装置) ※機側操作盤含む	台	1	型式:B0128993 製番FGX4422-01	2015年3月	
警報表示板(副制御装置) ※機側操作盤含む	台	1	型式:B0128993 製番FGX4423-01	2015年3月	
補助警報表示板	台	1	型式:B0128993、製番FGX4425-01	2015年3月	
屋外注意表示板	台	1	型式:B0128993、製番FGX4428-01	2015年3月	
押しボタン式通報装置	台	17	型式:B0128993、製番FGX4429-08	2015年3月	
消火器	本	34	_	2025年1月	
非常電話	個	5	型式:B0128993、製番MHTA369-03	2015年3月	
誘導表示板	枚	7	_	2015年3月	
非常電話案内板	枚	20	_	2015年3月	
非常電話説明板	台	5	_	2015年3月	
通報装置説明板	台	17	_	2015年3月	
坑内注意表示板	枚	1	_	2015年3月	
照明設備	台	51	_	2015年3月	
自動調光装置	台	1		2015年3月	
受光器	台	1		2015年3月	
照明分電盤	台	1		2015年3月	

トンネル名 二ノ瀬トンネル

点検実施 年月日

非常用施設(1/5)

点検整備の種類 年 点 検

検 指 示 事 項 X 交換 С W 分解 Е 目視 清掃 Т M Α 調整 測定 増締 H 指触 動作確認

良否の判定
○ 良 好
△ 要調整
× 異 常

				1		7111	12.4	]		D 動作確認	S 聴覚		X	
		点	検 整 備		点検・	整備管	i所と点	検方法					点検結果	
	区			E 14 0 12 14		点検	臨	定	点	良否の判定方法		Ė	54	
	分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	月点検	年点検	品 時 点 検	<b>上期点検</b>	検条件	というだりない。 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
		全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	断線、緩み、発錆等が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	警報表		表示部確認	表示部の汚損状態を 確認する。	D	D		-	中	表示内容が明確に判読 できること。	原因を調査し対処。			
	示板(		点灯状態確認	ランプチェックにて 点灯確認する。	D	D	-	-	中	表示板のランプ切れが ないこと。	原因を調査し対処。			
	T M C		動作試験	問題なく項目が表示 されるか確認する。	D	D	-	-	中	項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
			サイレン	サイレンが鳴動するか 確認する。	D	D	-	-	中	「トンネル内事故発生」 表示に連動して鳴動す るか。	原因を調査し対処。			
非	:		注意灯	赤色・黄色注意等が 点灯(点滅)するか 確認する。	D	D	-		中	表示項目と連動して 点滅するか。	原因を調査し対処。			
非常用施		全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-		中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
設			接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	断線、緩み、発錆等が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	警報表1		表示部確認	表示部の汚損状態を確認する。	D	D	-	-	中	表示内容が明確に判読できること。	原因を調査し対処。			
	示板(		点灯状態確認	ランプチェックにて 点灯確認する。	D	D	-	-	中	表示板のランプ切れが ないこと。	原因を調査し対処。			
	T S C		動作試験	問題なく項目が表示 されるか確認する。	D	D	-	-	中	項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
			サイレン	サイレンが鳴動するか 確認する。	D	D	-	-	中	「トンネル内事故発生」 表示に連動して鳴動す るか。	原因を調査し対処。			
			注意灯	赤色・黄色注意等が 点灯(点滅)するか 確認する。	D	D	-	-	中	表示項目と連動して 点滅するか。	原因を調査し対処。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

トンネル名 二ノ瀬トンネル

点検実施 年月日

非常用施設(2/5)

点検整備の種類 年 点 検

			点	検	指	示	事 項		
	Χ	交換	С	清:	掃	W	分解	Е	目視
ĺ	Α	調整	M	測;	定	Т	増締	Н	指触
	D	動	作確	認		S	耶	恵覚	

良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

						7111	, ·			D 動作確認	S   聴覚		X 異常	
		点	検 整 備		点検・	整備管	所と点	検方法					点 検 結 果	
	区		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	EM		点検	臨	定	点	良否の判定方法		白	24	
	分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	月点検	年点検	<sup>臨</sup> 時 点 検	<b>上期整備</b>	検条件	というだけたがた および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
		全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	1	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面とに より確認する。	Е	Е	_	_	中	ハンドル、蝶番、ストッ パ等に緩みのないこと。 軽く開閉できること。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			調光試験	昼間・夜間の輝度調 整機能を確認する。	Е	Е	-	-	中	問題なく輝度調整ができ ること。	原因を調査し対処。			
			ランプチェック	全ての表示ランプが 点灯するか確認する。	Е	Е	-	X, A	中	全ての表示ランプが 点灯すること。	原因を調査し対処。			
			バッテリー状態	バッテリー電圧を確認 する。	-	M	-	M	中	電圧が適正であること。 液面・比重が適正で あること。	バッテリー交換。			
	主制		接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中		状況により補修、清掃、 交換する。			
非	御装置		機測操作試験	各表示、サイレン、 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	-	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
常用施			遠隔制御試験	受信制御機よりの操作 で各表示、サイレン 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	-	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
設			通話試験	制御装置間・受信制御機と通話が出来るか確認する。	S	S	-	-	中	通話が良好である。	原因を調査し対処。			
			故障表示試験	回路断、機器故障、 ヒューズ断等故障表示 されることを確認。	D	D	-	-	中	各故障表示がされ 出力されること。	原因を調査し対処。			
			押しボタン 回路試験	系統ごとの押ボタン 回路をそれぞれ確認。	D	D	-	-	中	系統ごと押ボタン操作し 表示動作すること。	原因を調査し対処。			
				押ボタンを操作し 警報動作を確認。	D	D	-	-	中	警報信号が正常に 受信すること。	原因を調査し対処。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表-3

点検	:箇所				令和 年度							
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月 日	月 日	月日	月日	月 日	月 日	月日	備  考
<b>伸</b> 放 区 分	固別名称	72.144		<b>基</b> 中世	○点検							
		外観		_								
+444	全般	清掃		_								
機側		動作確認		_								
側 操		入力電圧(機側撐	操作盤)	$AC200V \pm 10\%$								R-T
作盤		入力電圧(警報表	長示板)	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								X1 - Y1
盗		入力電圧(ヒー	-タ)	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								XH1—YH1
主		UPS出力電圧	商用	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								SW1常用
制細細		015円/7電圧	停電	$AC100V \pm 10\%$								SW1常用
制 御 装	電源	電源部	AVR1	$DC12V \pm 5\%$								
置		电冰巾	AVR2	$DC24V \pm 5\%$								
<u> </u>				DC5V ± 5%								警報表示板内
警		電源分配部	AVR3	$DC12V \pm 10\%$								
報				$DC-12V \pm 10\%$								
報 表 示		絶縁抵抗		1MΩ以上								
板		接地抵抗		100Ω以下								
	伝送部	送信レベル		0∼-15dBm								·警報表示板内
	四之印	受信レベル	V	$0\sim$ $-35\mathrm{dBm}$								E TRACTION I

トンネル名 二ノ瀬トンネル

点検実施 年月日

非常用施設(3/5)

点検整備の種類 年 点 検

			点	検	指	示	事 項		
١	Χ	交換	С	清	掃	W	分解	Е	目視
١	Α	調整	М	測;	定	Т	増締	Н	指触
I	D	動	作確	認		S	毦	恵覚	

良否の判定

○ 良 好

△ 要調整

× 異 常

						7111				D 動作確認	S 聴覚		X A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	
		点 柞	<b>乗</b> 備		点検・	整備管	所と点	検方法					点検結果	
	玄			点検の目的		点検	臨	定	点	良否の判定方法		良	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
	分	点検項目	点検内容	点検箇所 点検方法	月点検	年点検	時点検	期整備	検条件	および 判定基準	不良時の処置 の方法	否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
		全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
				保安面と機能面とに より確認する。	Е	Е	-	1		ハンドル、蝶番、ストッ パ等に緩みのないこと。 軽く開閉できること。	状況により補修、清掃、 交換する。			
				昼間・夜間の輝度調 整機能を確認する。	Е	Е	-	1		問題なく輝度調整ができ ること。	原因を調査し対処。			
				全ての表示ランプが 点灯するか確認する。	Е	Е	-	X, A		全ての表示ランプが 点灯すること。	原因を調査し対処。			
				バッテリー電圧を確認 する。	-	М	-	M	中	電圧が適正であること。 液面・比重が適正で あること。	バッテリー交換。			
	副制御			接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	断線、緩み、発錆等が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
非	御装置			各表示、サイレン、 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	-		各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
常用施				受信制御機よりの操作 で各表示、サイレン 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	1	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
設				制御装置間・受信制御 機と通話が出来るか 確認する。	S	S	-	-	中	通話が良好である。	原因を調査し対処。			
			故障表示試験	回路断、機器故障、 ヒューズ断等故障表示 されることを確認。	D	D	-	-		各故障表示がされ 出力されること。	原因を調査し対処。			
			押しボタン 回路試験	系統ごとの押ボタン 回路をそれぞれ確認。	D	D	-	1		系統ごと押ボタン操作し 表示動作すること。	原因を調査し対処。			
				押ボタンを操作し 警報動作を確認。	D	D	-	ı	中	警報信号が正常に 受信すること。	原因を調査し対処。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

点検	:箇所	5 W - T F		, ,	令和 年度							
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月日	月 日	備考
1件风区刀	固川石小	MIXT 141			○点検							
+444		外観		_								
機 側	全般	清掃		_								
操作		動作確認		_								
作		入力電圧(機側搏	操作盤)	$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								R-T
盤		入力電圧(警報表	長示板)	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								X1-Y1
副		入力電圧(ヒー	-タ)	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								XH1 — YH1
制		UPS出力電圧	商用	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								SW1常用
御生		012四万电压	停電	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								SW1常用
御 装 置	電源	電源部	AVR1	$DC12V \pm 5\%$								
$\smile$	电你	电你印	AVR2	$DC24V \pm 5\%$								
• 警				$DC5V \pm 5\%$								警報表示板内
報		電源分配部	AVR3	$DC12V\pm10\%$								
表示				$DC-12V\pm10\%$								
示 板		絶縁抵抗		1MΩ以上								
120		接地抵抗		100Ω以下								

トンネル名 二ノ瀬トンネル

点検実施 年月日

非 常 用 施 設(4/5)

点検整備の種類 年点検

		点	検	指	示	事 項	Į.	
X	交換	С	清抗	帚	W	分解	E	目視
Α	調整	M	測気	È	Т	増紹	fН	指触
D	動	作確	認		S		聴覚	

良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

								J		D 動作確認	S		X	
		点	<b>乗</b> 備		点検・	整備箇	所と点	検方法					点 検 結 果	
	<u>×</u>	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法		点検 年 点 検	臨時点検	定期点検	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
	補助	全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	警報表		動作試験	問題なく項目が表示 されるか。	D	D	-	-	中	項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
	公示板		注意灯	点滅するか。	D	D	-	-	中	表示項目と連動して 点滅するか。	原因を調査し対処。			
	屋外	全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	注意表		動作試験	問題なく項目が表示 されるか。	D	D	-	-	中	項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
	示板		注意灯	点滅するか。	D	D	-	-	中	表示項目と連動して 点滅するか。	原因を調査し対処。			
非		全般	連動動作	関連設備との連携が 確実に行われることを 確認する。	-	D	-	Е	中	主・副制御装置にて 検出し連動すること。	作動不良の場合は原因調査。 修理。			
常用施			腐食	腐食が機器の機能に 支障を来す程度か 確認する。	Е	Е	-	-	中	腐食が激しく、機能に 問題あるか判断。	問題ありの場合交換。			
設	押釦式		配線の状態	配線の接続状況調査。	-	Е, Н	-	Е, Н	中		増締め。 破損の場合は修理。			
	通報装置		フレキシブルガラス	破損の状況。	Е	Е	-	Е	中		部品の交換。			
	置		通報装置説明板	破損、汚損を確認。	Е	Е	-	Е	中	破損、汚損がないこと。	交換する。			
			赤色灯	球切れの有無を確認。	Е	Е	-	Е	中	不点灯が無いこと。	交換する。			
		消火器	数量	収納状態、数量の確認。	Е	Е	-	-	-	規定数量が納められて いるか確認。	不足の場合は補充。			
	消火設供		薬剤	薬剤の劣化状況確認。	Е	Е	-	-	-		期限切れになる前に 消火器交換。			
	備		損傷	外観に損傷はないか。	Е	Е	-	-	-	ガラスの破損、変形、 脱落がないこと。	部品の交換。			

<sup>・</sup>臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

<sup>・</sup>定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。

<sup>・</sup>点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

点検	箇所	<b>-</b> 10-7-1		, ,	令和 年度							
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月 日	月 日	月 日	月日	月 日	月日	月 日	備考
1件成 凸 刀	固別石物	W.M. 141.		- 五十世	○点検							
		外観		_								
	全般	清掃		_								
補		動作確認										
助		入力電圧		$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								R-T
<b>警</b> 報		UPS出力電圧	商用	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								SW1常用
表		013四万电压	停電	$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								SW1常用
示	電源		AVR1	$\mathrm{DC}12\mathrm{V}\pm5\%$								
板		電源部	AVR2	$DC24V\pm5\%$								
			AVR3	$DC5V \pm 5\%$								
		絶縁抵抗	, and the second	1MΩ以上								

整理番号	
	別表 − 3

# 運転記録表

点検	箇所	LW-ED			令和 年度								
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月日	月日	月 日	月 日	月 日	月日	月 日	備	考
1	固別石物				○点検								
屋		外観		_									
外	全般	清掃											
注意		動作確認											
表		入力電圧		$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								R-T	
示	電源	電源部	AVR1	$DC12V\pm5\%$									
板		电你们	AVR2	$DC5V \pm 5\%$									

点検	箇所		点検項目	メーカー	令和 年度								
構成区分	笛所	名称	点検内容	基準値	月日	備	考						
円成区力					○点検								
	電	源	入力電圧	$AC100V \pm 10\%$								PX1-PX2	
			外観	_									
		○P1	清掃	_									
			赤色表示灯	_									
			発報動作	_									
			外観	_									
		○P2	清掃	_									
		012	赤色表示灯	_									
		○P3 <b>-</b>	発報動作	_									
			外観	_									
	-	○P3	清掃	_									
		010	赤色表示灯	_									
			発報動作	_									
			外観	_									
		○P4	清掃	_									
押		011	赤色表示灯	_									
釦			発報動作	_									
式			外観	_									
通	全般	○P5	清掃	_									
報 装	般		赤色表示灯	_									
置		○P5	発報動作	_									
<u> </u>			外観	_									
		○P6	清掃	_									
			赤色表示灯	_									
			発報動作	_									
			外観	_									
		○P7	清掃	_									
			赤色表示灯	_									
			発報動作	_									
		] .	外観	_									
		○P8	清掃	_									
			赤色表示灯	_									
			発報動作	_									
			外観	_									
		○P9	清掃	_									
			赤色表示灯	_									
			発報動作	_									

# 消 火 器 点 検 表

# 二ノ瀬トンネル

No.	瀬トンイル 設置場所	種別	製造番号	製造年	製造者	点検結果	備考
1 2	RP — 1	粉末(ABC) 蓄圧式					
3	nn o	粉末 (ABC)					
4	RP — 2	蓄圧式					
5 6	RP — 3	粉末(ABC) 蓄圧式					
7	RP-4	粉末(ABC) 蓄圧式					
9	RP — 5	粉末(ABC) 蓄圧式					
10	RP-6	粉末 (ABC)					
12 13		蓄圧式 粉末(ABC)					
14	RP — 7	蓄圧式					
15 16	RP — 8	粉末(ABC) 蓄圧式					
17 18	LP — 1	粉末(ABC) 蓄圧式					
19 20	LP-2	粉末(ABC) 蓄圧式					
21	LP-3	粉末(ABC) 蓄圧式					
23	LP-4	粉末 (ABC)					
24 25	LP-5	蓄圧式 粉末 (ABC)					
26 27		蓄圧式 粉末(ABC)					
28 29	LP-6	蓄圧式					
30	LP-7	粉末(ABC) 蓄圧式					
31 32	LP-8	粉末(ABC) 蓄圧式					
33 34	LP-9	粉末(ABC) 蓄圧式					

トンネル名 二ノ瀬トンネル

点検実施 年月日

非常用施設(5/5)

点検整備の種類 年 点 検

点検指示事項 X С 交換 W Е 清掃 分解 目視 調整 Μ Τ 増締 Н 動作確認 S 酶骨

良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

				]	1 //// //			j		D 動作確認	S 聴覚		X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	
		点 柞	<b>棄</b> 備		点棆•	整備筒	所と点	検方法			I		点 検 結 果	
	<u> </u>		1 11	1		点検			点	良否の判定方法		亡	7W 1X WH 2K	
	<u>×</u> 分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	月点検	年点検	臨時点検	定期点検	検条件	民省の刊定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
		全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	Е	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			表示灯等の 点灯状態	表示灯、蛍光灯の球 切れを確認する。	Е	Е	-	-	中	異常無く、点灯して いること。	交換する。			
	非常電話		接続状態	接続ケーブル、コネ クタ、端子等の断線、 緩み、発熱等の有無 を確認する。	1	D	-	-	中	断線、損傷、緩み、発熱 等がないこと。	原因を調査し対処。			
			発信者の確認	電話線の状態を確認する。	-	D	-	_	中	通話が可能であること。	原因を調査し対処。			
			電話収納箱	電話機等の機器収納 状態及び蛍光灯の点 灯状態。	Е	D	-	_	中	規定の位置に収納されて いること。 蛍光灯が点灯すること。	原因を調査し対処。			
	遊	全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	1	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
非常用	表示板		動作試験	問題なく項目が表示 されるか。	D	D	-	-	中	項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
施設	案内板		発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	Е	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	説明板 非常電話		発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	Е	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	説明板		発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	E	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	坑内	全般		外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	_	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	注意表		動作試験	問題なく項目が表示されるか。	D	D	-	-	中		原因を調査し対処。			
	示板		注意灯	点滅するか。	D	D	-	-	中	表示項目と連動して 点滅するか。	原因を調査し対処。			

<sup>・</sup>臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)

<sup>・</sup>定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。

<sup>・</sup>点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

点椅	後箇所		–		令和 年度							
1# b 6	£4£4>-		点検項目 点検内容	メーカー	月日	備考						
構成区分	箇別	名称		基準値	○点検							
			外観	_								
			表示灯の点灯	_								
		No1	接続状態	_								
			発信者の確認	_								
			電話収納箱	_								
			外観	_								
			表示灯の点灯	_								
		No2	接続状態	_								
			発信者の確認	_								
			電話収納箱	_								
			外観	_								
非			表示灯の点灯	_								
非常電話	全般	No3	接続状態	_								
話			発信者の確認	_								
			電話収納箱	_								
			外観	_								
			表示灯の点灯	-								
		No4	接続状態	-								
			発信者の確認	-								
			電話収納箱	_								
			外観	_								
			表示灯の点灯	_								
		No5	接続状態	_								
			発信者の確認	_								
			電話収納箱	_								

別表-3

点検	箇所		- W-Z-D	) I	令和 年度							
構成区分	公司	名称	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月日	備考						
件 队 凸 万	直 り	<b>名</b> 你	が展11 <del>日</del>	金平區	○点検							
		京都側	外観	_								
		から1	清掃	_								
	2	9	外観	_								
		۷	清掃	_								
		3	外観	_								
誘		J	清掃	_								
誘導表示 板	全般 4	4	外観	_								
示	11/1/	T	清掃	_								
板		5	外観	_								
		Ü	清掃	_								
		6	外観	_								
		Ü	清掃	_								
		7	外観	_								
		•	清掃	_								

点検	箇所				令和 年度								
I# 5 - 0	£1£1	1	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月日	備	考						
構成区分	箇別	名称		基準旭	○点検								
		京都よ	外観	_									
		91	清掃	_									
		2	外観	_									
		2	清掃	_									
		2	外観	_									
		3	清掃	_									
		4	外観	_									
		4	清掃	_									
		5	外観	_									
			清掃	_									
		c	外観	_									
		6	清掃	_									
非		7	外観	_									
非常電話案内		'	清掃	_									
電	全般	8	外観	_									
案	般	O	清掃										
内		9	外観	_									
板		9	清掃	_									
		10	外観										
		10	清掃	_									
		11	外観	_									
		11	清掃	_									
		12	外観	_									
		12	清掃	_									
		13	外観	_									
		10	清掃	_									
		14	外観	_									
		1.4	清掃	_									
		15	外観	_									
		10	清掃	_									

別表-3

トンネル名: 二ノ瀬トンネル

運転記録表

点検	箇所		6 IA -T P	, ,	令和 年度							
構成区分	公司	名称	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月日	月日	月日	月 日	月日	月 日	月日	備考
<b>伸</b> 成	直別	<b>名</b> 你	<b>が採1</b> 4	- 本平恒	○点検							
	No1	外観	_									
		NOT	清掃	_								
非		No2	外観	_								
常		NOZ	清掃									
電話	全般	No3	外観	_								
説	土川又	1103	清掃									
明		No4	外観	_								
板		NO4	清掃	_								
		No5	外観	_								
		1100	清掃	_								

点検	爸的所			<u> </u>	令和 年度							
I#. I\ → /\	£nka →p	h 41.	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月日	備考						
構成区分	箇別	名称	<b>总使约谷</b>	<b>本</b> 毕旭	○点検	1						
	Ì		外観	_								
		LP-1	清掃	_								
			外観	_								
		LP-2	清掃	_								
			外観	_								
		LP-3	清掃	_								
		ID 4	外観	_								
		LP-4	清掃	_								
		LP-5	外観	_								
		LP-5	清掃	_								
	LP-	ID C	外観	_								
		LP-6	清掃	_								
		LP-7	外観	_								
		Lr-1	清掃	_								
通		LP-8	外観	_								
報		LIO	清掃	_								
報 装 置	全般	LP-9	外観	_								
説	土川又	LI 3	清掃	_								
明		RP-1	外観	_								
板		M I	清掃	_								
		RP-2	外観	_								
		ru z	清掃	_								
		RP-3	外観	_								
		0	清掃	_								
		RP-4	外観	_								
			清掃	_								
		RP-5	外観	_								
			清掃	_								
		RP-6	外観	_								
			清掃	_								
		RP-7	外観	_								
			清掃	_								
		RP-8	外観	_								
			清掃	_								

整理番号		
	別衣 - 3	

# 運転記録表

点検	箇所	LW-4-1			令和 年度								
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月 日	月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月日	備考	
<b>博</b> 成 区 刀	画別和你	M(X1 1/1		23716	○点検								
坑		外観		_									
機治	全般	清掃											
側音		動作確認											
操表作示		入力電圧		$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								R-T	
作示	電源	電源部 AVR1 AVR2 AVR3	$DC12V \pm 5\%$										
盤板	电你		AVR2	$\mathrm{DC24V} \pm 5\%$									
•			AVR3	$DC5V \pm 5\%$									

トンネル名 二ノ瀬トンネル

点検実施 年月日

照 明 設 備(1/2)

点検整備の種類 年点検

			点	検	指	示	事 項		
	Χ	交換	С	清:	掃	W	分解	Е	目視
	Α	調整	М	測:	定	Т	増締	Н	指触
Ì	D	動	作確	認		S	聪	覚	

J	良否の判定
0	良 好
Δ	要調整
×	異常

	点	<b>強 整 備</b>		点検・	整備箇	所と点	検方法	F				点検結果	
区分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	定期月点検	点検 年 点 検	臨時点検	定期整備	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
		外観	器具外部の汚れ、損 傷、発錆の有無を 確認する。	Е	С, Е	1	-	中	がないこと。	器具ガラス面の清掃。			
		据付状態	器具の取付金具やボル ト等の取付状態 の確認。	-	Е, Т	-	Ī	中	取付金具やボルト等に緩 みがないこと。 損傷、発錆がないこと。	増締め。破損の場合は交 換。			
	全般	配線の状態	配線の接続状況調査。	-	Е	ı	ı	中	端子、端子台に緩みはないか。 配線に破損はないか。	増締め。破損の場合は修 理。			
照明		絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定する。	-	M	ı	ı	中	基準値以内であること。	原因を調査し対処。			
設備		接地	接地線の状態を確認する。	-	Е, Т	ı	ĺ	中	接地線が正常に結線され ていること。	原因を調査し対処。			
	安定器	動作状態	正常に動作しているか 確認する。	-	Е	(E)	-	中	ランプにチラツキがない こと。	交換する。			
	<b>女</b> 是前	異常音	発生音の確認。	-	E, S	-	-	中	異常音がないこと。	交換する。			
	ランプ	点灯状態	点灯状態を確認する。	Е	Е, Х	-	-	中		不点灯箇所および異常箇 所はランプ交換する。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・ 定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。 ・ 点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

トンネル名 二ノ瀬トンネル

照 明 設 備(2/2)

点検実施 年月日

点検整備の種類 年 点 検

点検指示事項 Χ 交換 С W 分解 清掃 Е 目視 Α Μ 調整 測定 Τ 増締 Н 指触 動作確認

良否の判定

○ 良 好

△ 要調整

× 異 常

				]	·	,,,,				D 動作確認	S   聴覚		X	
		点	検 整 備			整備箇	所と点	検方法	点				点 検 結 果	
	区 分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	月 点検	年点検	臨時点検	定期整備	<sup> </sup>	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
			発錆、汚損	外観を確認する。	Е	С	1	1	中	発錆、汚損がないこと。	補修、清掃する。			
	自動		取付状態	取り付け金具やボルト 等の緩みの確認。	-	Е	1	1	中	取付、筺体に緩みのないこと。	増締めする。			
	調 全般 酢	配線の状態	配線の接続状況調査。	-	Е	1	-	中	端子、端子台に緩みはないか。 配線に破損はないか。	増締め。破損の場合は修 理。				
			絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定する。	-	M	1	ı	中	基準値以内であること。	原因を調査し対処。			
	受 全船	作動状態	タイマ等の遅れを確認 する。	Е	Е	-	-			清掃、補修。 部品交換。				
照	光 器	全般	発錆、汚損	外観を確認する。	Е	С	ı	ı	中	発錆、汚損がないこと。	補修、清掃する。			
明設備			発錆、汚損	外観を確認する。	Е	С	-	-	中	発錆、汚損がないこと。	補修、清掃する。			
	盤面	扉の開閉、施錠	保安面と機能面とによ り確認する。	-	Е, Н	1	1	Ψ'		調整し増締めする。 必要により鍵の交換。				
	照明般		取付状態 汚損	外観を確認する。	Е	Е	-	-	中		清掃、補修。 部品交換。			
	盤配線用	変色	外観を確認する。	Е	Е	-	-	中	変色のないこと。	著しければ交換。				
		遮断機	開閉動作	開閉動作の確認。	-	D	-	_	中	開閉動作が正常出来るこ と。	交換する。			
			接続部	外観を確認する。	-	Е	-	-	中	端子、端子台に緩みはない か。	増締め。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

点検	箇所			令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月 日	月 日 ○点検	月 日 ○点検	月 日	月 日	月 日 ○点検	月 日	備  考
	全般	外観	-						-		
	生版	清掃	_								
	電源	入力電圧	$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								T-R
	电你	電流	75A以下								
	ブレーカー 1L	絶縁抵抗	1MΩ以上								
トン	ブレーカー 1R	絶縁抵抗	1MΩ以上								
ン ネ ル	ブレーカー 2L	絶縁抵抗	1MΩ以上								
照明分	ブレーカー 2R	絶縁抵抗	1MΩ以上								
分 電 盤	ブレーカー 3L	絶縁抵抗	1MΩ以上								
	ブレーカー 3R	絶縁抵抗	1MΩ以上								
	ブレーカー 4L	絶縁抵抗	1MΩ以上								
	屋外注意 表示板	絶縁抵抗	1MΩ以上								

トンネル名 八瀬トンネル

非 営 用 施 設(1/7)

点検実施 年月日

点検整備の種類 年 点 検

点 検 指 示 事 項 С W Χ 交換 清掃 分解 Е 目視 Α 調整 M Т 測定 増締 Н 指触 良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

	ナ	- 市川,	施 設(1/1)		_ +-	、尽	1円			D 動作確認	S 聴覚		× 異常
		点	検 整 備		点検・	整備箇	所と点	検方法	F				点 検 結 果
	玄分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	定期月点検	点検 年 点 検	臨時点検	定期点検	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述 備 考
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	_		発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。		
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面とに より確認する。	Е	Е	-	-	中	ハンドル、蝶番、ストッ パ等に緩みのないこと。 軽く開閉できること。	状況により補修、清掃、 交換する。		
			故障表示	故障表示が出ていな いか。	Е	Е	-	-		故障表示がでていない こと。	原因を調査し対処。		
	受		ランプチェック	全ての表示ランプが 点灯するか確認する。	Е	Е	-	Х, А		全ての表示ランプが 点灯すること。	原因を調査し対処。		
	受信制御	全般	連動動作	関連設備との連携が 確実に行われること を確認する。	-	D	-	-		制御装置、副制御装置 に伝わること。	動作不良の場合は原因 調査。不良箇所の修理 または改良。		
非常	機		通話試験	制御装置〜受信制御 機と通話が出来るか 確認する。	S	S	-	-	中	通話が良好である。	原因を調査し対処。		
用施設			伝送レベル 確認	送信レベル・受信 レベルを確認する。	-	M	-	1	中	適正値であること。	原因を調査し対処。		
			故障表示試験	回路断、機器故障、 ヒューズ断等故障表示 されることを確認。	D	D	-	-		各故障表示がされ 出力されること。	原因を調査し対処。		
			押ボタン 動作確認	押ボタンを操作し 警報動作を確認する。	D	D	-	-		警報信号を正常に 受信すること。	原因を調査し対処。		

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表-3

トンネル名: 八瀬トンネル

点検	箇所	h 1	A-# 11	, ,	令和 年度								
井田マハ	箇所名称		<sub>倹項目</sub> 倹内容	メーカー 基準値	月 日	月 日	月日	月日	月 日	月 日	月 日	備	考
構成区分	固別名称	W.1	K. 141	<b>基</b> 平框	○点検								
		2	外観	_									
	全般	ì	青掃	_									
		動作	作確認	_									
		入	力電圧	$AC100V \pm 10\%$									
				DC5V ± 5%									
	電源	制度	制御電圧	$DC12V\pm10\%$									
受	电冰	ן נינוו	叶电江	$DC-12V \pm 10\%$									
受 信 制				$DC24V \pm 10\%$									
御機		バッテリ	一充電電圧	DC27. $3V \pm 0.3V$									
機		二ノ瀬TN	送信レベル	0∼-15dBm									
		— / WRIT	受信レベル	$0\sim$ $-35\mathrm{dBm}$									
		八瀬TN		0∼-15dBm									
	伝送		受信レベル	$0\sim$ $-35\mathrm{dBm}$									
		線	間電圧	DC50V以下									
	ŀ	路線電流	所内	20mA以下									
		PH/N/ FE-1/1	府警	20mA以下									

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

点検指示事項 交換 W 清掃 分解 Е 点検整備の種類

良否の判定 0 良 好 英調整

目視

	-	非常用力	施 設(2/7)		年	点	検			A     調整     M     測定       D     動作確認	I     増締   日         S     聴覚	指触	<ul><li>□ 安調整</li><li>× 異常</li></ul>	
	区分	点検項目	策 整 備 点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法		整備箇	所と点 臨時点検	検方法 定期点検	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点 検 結 果 点検結果の内容と提案事項の記述	備考
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面とに より確認する。	Е	Е	-	_	中	ハンドル、蝶番、ストッ パ等に緩みのないこと。 軽く開閉できること。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			故障表示	故障表示が出ていな いか。	Е	Е	-	-	中	故障表示がでていない こと。	原因を調査し対処。			
	モニュ	Δ 60.	ランプチェック	全ての表示ランプが 点灯するか確認する。	Е	Е	-	Х, А	中	全ての表示ランプが 点灯すること。	原因を調査し対処。			
	ター 盤 常	全般	連動動作	関連設備との連携が 確実に行われること を確認する。	-	D	-	-	中	制御装置、副制御装置 に伝わること。	動作不良の場合は原因 調査。不良箇所の修理 または改良。			
	常用施設		伝送レベル 確認	回線電流を測定する。	-	М	_	-	中	適正値であること。	原因を調査し対処。			
	設		故障表示試験	回路断、機器故障、 ヒューズ断等故障表示 されることを確認。	D	D	-	-	中	各故障表示がされ 出力されること。	原因を調査し対処。			
			押ボタン 動作確認	押ボタンを操作し 警報動作を確認する。	D	D	-	-	中	警報信号を正常に 受信すること。	原因を調査し対処。			
- 1											<u> </u>			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

トンネル名: 八瀬トンネル

					ī							
点検	箇所	点検項目	メーカー	令和 年度								
構成区分	箇所名称	点検内容	基準値	月日	備	考						
111/44111193	8// 6//			○点検								
		外観	_									
モ	全般	清掃	_									
=		動作確認	_									
ター		入力電圧	$AC100V \pm 10\%$									
盤	電源	制御電圧	$DC5V \pm 5\%$									
ini.	电极		$\mathrm{DC24V} \pm 10\%$									
		バッテリー充電電圧	DC26. $7V \pm 1.0V$									
		I .										

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

 ま常用施設(3/7)
 点検整備の種類

 年点検

点検指示事項 Χ 交換 С W Е 目視 分解 清掃 Α Μ Τ Н 調整 測定 増締 指触 動作確認

				]		7111	12.4			D 動作確認	■ S ■ 聴覚		X	
	I	点 友	検 整 備		点棆•	整備箇	i所と点	<b>給</b> 方法				1	点 検 結 果	
	区	716 1	灰 正 师	b 10 + 11 //.		点検			点	良否の判定方法		<u> </u>		
	分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	月点検	年点検	臨時点検	定期整備	検条件	及合の刊た方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	1	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面とに より確認する。	Е	Е	-	-	中		状況により補修、清掃、 交換する。			
			調光試験	昼間・夜間の輝度調 整機能を確認する。	Е	Е	-	-	中		原因を調査し対処。			
			ランプチェック	全ての表示ランプが 点灯するか確認する。	Е	Е	-	Х, А	中	全ての表示ランプが 点灯すること。	原因を調査し対処。			
			バッテリー状態	バッテリー電圧を確認 する。	-	M	-	M	中	電圧が適正であること。 液面・比重が適正で あること。	バッテリー交換。			
		全般	接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	断線、緩み、発錆等が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
非	主制御	至版	機測操作試験	各表示、サイレン、 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	_	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
非常用施	装置			受信制御機よりの操作 で各表示、サイレン 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	-	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
設				制御装置間・受信制御機と通話が出来るか 確認する。	S	S	-	-	中	通話が良好である。	原因を調査し対処。			
			故障表示試験	回路断、機器故障、 ヒューズ断等故障表示 されることを確認。	D	D	-	1	中	各故障表示がされ 出力されること。	原因を調査し対処。			
			押しボタン 回路試験	系統ごとの押ボタン 回路をそれぞれ確認。	D	D		-	中	系統ごと押ボタン操作し 表示動作すること。	原因を調査し対処。			
				押ボタンを操作し 警報動作を確認。	D	D	-	-	中	警報信号が正常に 受信すること。	原因を調査し対処。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表-3

トンネル名: 八瀬トンネル

点検	箇所				令和 年度							
## <del>**</del>	kk=r h th	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月日	備考						
構成区分	箇所名称	点使闪谷		基準個	○点検	1						
		外観										
	全般	清掃		_								
		動作確認		_								
		入力電圧		$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								U-V
		交流出力		$\mathrm{AC100V} \pm 10\%$								AX1—AX2
		制御電圧		DC5V ± 5%								
		11014年12.		$\mathrm{DC24V} \pm 10\%$								IFP-IFN
主	電源	赤色表示灯出力	雪田	$DC24V \pm 10\%$								1D+ — 1D-
主 制	电你	亦已表示对田/、		$DC24V \pm 10\%$								2D+-2D-
御 装 置		バッテリー充電電圧	バッテリー充電電圧	DC25.8V $\pm$ 0.2V								
<del>发</del> 置		均等										
<u>pe</u>		表示ランプ点灯出力		$DC24V \pm 4V$								D2+-D2-
	表示	217	暗	$DC12V \pm 2V$								
				DC5V ± 5%								
		制御電圧		DC12V ± 10%								
	伝送部			DC-12V ± 10%								
		N/ /=		DC24V ± 10%								
		送信レベル		0∼-15dBm								
		受信レベル		0∼-35dBm								
		i		I						]	]	1

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

点検整備の種類 年 点 検

点検指示事項 Χ 交換 С W Е 目視 分解 清掃 М Α 調整 Τ 増締 Н 測定 指触 D 動作確認 S 聴覚

良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

非常用施設(4/7)

		点	検 整 備		点検・	整備箇	所と点	検方法					点 検 結 果	
区分		点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	定期 月 点 検	点検 年 点 検	臨時点検	定期整備	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面とに より確認する。	Е	Е	1	1	中		状況により補修、清掃、 交換する。			
			調光試験	昼間・夜間の輝度調 整機能を確認する。	Е	Е	-	-	中		原因を調査し対処。			
			ランプチェック	全ての表示ランプが 点灯するか確認する。	Е	Е	-	Х, А	中	全ての表示ランプが 点灯すること。	原因を調査し対処。			
			バッテリー状態	バッテリー電圧を確認 する。	-	M	-	M	中	電圧が適正であること。 液面・比重が適正で あること。	バッテリー交換。			
			接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	1	1	中		状況により補修、清掃、 交換する。			
	副制御	全般	機測操作試験	各表示、サイレン、 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	-	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
非常用施	御装置		遠隔制御試験	受信制御機よりの操作 で各表示、サイレン 点滅灯の動作を確認。	D	D	-	-	中	各表示、サイレン、点滅 灯が動作すること。	原因を調査し対処。			
設			通話試験	制御装置間・受信制御機と通話が出来るか確認する。	S	S	ı	-	中	通話が良好である。	原因を調査し対処。			
			故障表示試験	回路断、機器故障、 ヒューズ断等故障表示 されることを確認。	D	D	1	1	中	各故障表示がされ 出力されること。	原因を調査し対処。			
			押しボタン 回路試験	系統ごとの押ボタン 回路をそれぞれ確認。	D	D		1	中	系統ごと押ボタン操作し 表示動作すること。	原因を調査し対処。			
			押しボタン 回路試験	押ボタンを操作し 警報動作を確認。	D	D	-	-	中	警報信号が正常に 受信すること。	原因を調査し対処。			
		_												

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表−3

<b>隆理番号</b>	見り 幸っ
	別衣 <sup>-</sup> 3

点検	箇所	LW-ED			令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度			
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月 日	月日	月日	月日	月日	月日	月 日	備考		
<b>博</b> 成	固別名称	W.M. 141		- 五十世	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検			
		外観		_										
	全般	清掃		_										
		動作確認		_										
副		入力電圧		$AC200V \pm 10\%$								$U\!-\!V$		
制御		制御電圧		DC5V ± 5%										
装		門仰电圧		$DC24V \pm 10\%$								IFP-IFN		
置	電源	バッテリー充電電圧	浮動	DC25.8 $V \pm 0.2V$										
		・・ クァッ 九竜竜圧	均等	DC27.6 $V \pm 0.2V$										
		表示ランプ点灯出力		表示ランプ占灯出力		$DC24V \pm 4V$								D2+-D2-
		表示 ノン ノ 無対 田力	ポランプ 点灯 田刀 暗									DZ . DZ		

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

 非常用施設(5/7)
 点検整備の種類

 年点検

点検指示事項 Χ 交換 С W Е 目視 分解 清掃 Α М Т Н 調整 測定 増締 指触 D 動作確認 S 聴覚

良否の判定

○ 良 好

△ 要調整

異 常

×

				1						10 到11-1推応	3   職見		<u> </u>	
		点	険 整 備		点検・	整備箇	所と点	検方法					点 検 結 果	
	玄 分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法		<u>  </u>	臨時点検	定期点検	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	***		接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-		断線、緩み、発錆等が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	警報表示		表示部確認	表示部の汚損状態を確認する。	D	D	-	-	中	表示内容が明確に判読できること。	原因を調査し対処。			
	示板(T	全般	点灯状態確認	ランプチェックにて 点灯確認する。	D	D	-	-	中	表示板のランプ切れが ないこと。	原因を調査し対処。			
	M C		動作試験	問題なく項目が表示 されるか確認する。	D	D	-	_		項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
			サイレン	サイレンが鳴動するか 確認する。	D	D	-	-	中	「トンネル内事故発生」 表示に連動して鳴動す るか。	原因を調査し対処。			
非常			注意灯	赤色・黄色注意等が 点灯(点滅)するか 確認する。	D	D	-	-		表示項目と連動して 点滅するか。	原因を調査し対処。			
用施			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е, С	Е, С	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
設	恭女		接続状態	接続ケーブル、コネク タの状態を確認する。	Е, С	Е, С	-	-		断線、緩み、発錆等が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	警報表示		表示部確認	表示部の汚損状態を確認する。	D	D	-	-		表示内容が明確に判読できること。	原因を調査し対処。			
	小板(T	全般	点灯状態確認	ランプチェックにて 点灯確認する。	D	D	_	_	中	表示板のランプ切れが ないこと。	原因を調査し対処。			
	S C		動作試験	問題なく項目が表示 されるか確認する。	D	D		-		項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
			サイレン	サイレンが鳴動するか確認する。	D	D	-	-	中	「トンネル内事故発生」 表示に連動して鳴動す るか。	原因を調査し対処。			
			注意灯	赤色・黄色注意等が 点灯(点滅)するか 確認する。	D	D	-	-	中	表示項目と連動して点滅するか。	原因を調査し対処。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表−3

<b>E</b> 理番号
--------------

別表-3

点検	箇所	上於西口			令和 年度							
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容		メーカー 基準値	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月 日	備考
(特)从区力	固別石柳	7/4/5/1 1/4			○点検							
		外観		ı								
警	全般	清掃		Ī								
報 表		動作確認		ı								
示		制御電圧		$DC24V \pm 10\%$								14B-15B
板	電源	表示ランプ点灯出力・	明	$DC24V \pm 4V$								D2+-D2-
			暗	$DC12V \pm 2V$								DZ 1 — DZ

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

点検整備の種類 年 点 検

点検指示事項 Χ 交換 С W Е 目視 清掃 分解 Т Α Μ 測定 増締 Н 調整 指触 良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

	非	宇常 用力	施 設(6/7)		年	点	検			A     調整     M     測定       D     動作確認	T     増締     H       S     聴覚	指触	△     要調整       ×     異常	
9	<u> </u>	点 枝項目	魚 整 備 点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	点検・ 定 月 点検	整備箇 点検 年 点 検	所と点 臨時点検	検 方法 定 期 点 検	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点 検 結 果 点検結果の内容と提案事項の記述	備考
	誘導素	全般		外観・内観を確認する。	E, C		-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	表示板		動作試験	問題なく項目が表示 されるか。 関連設備との連携が	D	D	1	-	中	項目表示、消滅が実施 できるか。	原因を調査し対処。			
			連動動作 腐食	関連取佣との連携が 確実に行われることを 確認する。 腐食が機器の機能に	-	D	-	Е	中	主・副制御装置にて 検出し連動すること。 腐食が激しく、機能に	作動不良の場合は原因調査。 修理。 問題ありの場合交換。			
	押			支障を来す程度か 確認する。 配線の接続状況調査。	Е	Е	-	-	中	問題あるか判断。 接続ケーブル、コネクタ、				
非	卸式通過	全般	フレキシブルガラス	破損の状況。	-	E, H	-	E, H		端子台に緩みはないか。 配線に破損はないか。 ガラスの破損、変形、	破損の場合は修理。 部品の交換。			
常用施設	通報装置		通報装置説明板	破損、汚損を確認。	Е	Е	1	Е		脱落がないこと。 破損、汚損がないこと。	交換する。			
			赤色灯	球切れの有無を確認。	E E	E E	_	E E	中 — —	不点灯が無いこと。	交換する。			
					ь	L		L						

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表−3

別表-3

点検	箇所		h-10-77 P		令和 年度							
構成区分	体 司	f名称	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月日	月 日	備考
<b>押</b> 队	酉月	旧在你		金子區	○点検							
			外観	_								
		上り	清掃	_								
		No. 1	赤色表示灯	_								
			発報動作	_								
			外観	_								
		上り	清掃	_								
		No. 2	赤色表示灯	_								
押			発報動作	_								
釦 式		] ]	外観	_								
通	全般	下り	清掃	_								
報	般	No. 1	赤色表示灯	_								
通 報 装 置			発報動作	_								
直		] ]	外観	_								
		下り	清掃	_								
		No. 2	赤色表示灯	_								
			発報動作	_								
			外観	_								
		下り	清掃	_								
		No. 3	赤色表示灯	_								
			発報動作	_								

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

非 常 用 施 設(7/7)

点検整備の種類 年点検

			点	検 指	示	事 項		
	Χ	交換	С	清掃	W	分解	Е	目視
Γ	А	調整	M	測定	Т	増締	Н	指触
	D	動	作確	認	S	聣	対	

良否の判定
○ 良好
△ 要調整
× 異常

		l 111 \ 111 \	旭 叹(1/1)		7	. \!!!	1火			D 動作確認	S 聴覚		×  異 常	
		点	強 整 備		点検・	整備箇	所と点	検方法	<b>-</b>				点検結果	
	<u>₹</u>	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	定期月点検	点検 年 点検	臨時点検	定期点検	点検条件	良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述	備考
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	Е	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	非常		表示灯等の 点灯状態	表示灯、蛍光灯の球 切れを確認する。	Е	Е	_	_	中	異常無く、点灯して いること。	交換する。			
	電話(T	全般	接続状態	接続ケーブル、コネ クタ、端子等の断線、 緩み、発熱等の有無 を確認する。	-	D	-	-	中	断線、損傷、緩み、発熱 等がないこと。	原因を調査し対処。			
	1 <u></u>		発信者の確認	電話線の状態を確認する。	_	D	-	_	中	通話が可能であること。	原因を調査し対処。			
			電話収納箱	電話機等の機器収納 状態及び蛍光灯の点 灯状態。	Е	D	-	_	中	規定の位置に収納されて いること。 蛍光灯が点灯すること。	原因を調査し対処。			
			発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	Е	-	1	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
非常	非常		表示灯等の 点灯状態	表示灯、蛍光灯の球 切れを確認する。	Е	Е	-	-	中	異常無く、点灯して いること。	交換する。			
常用施設	、常電話 ( T	全般	接続状態	接続ケーブル、コネ クタ、端子等の断線、 緩み、発熱等の有無 を確認する。	1	D	-	-	中	断線、損傷、緩み、発熱 等がないこと。	原因を調査し対処。			
	2		発信者の確認	電話線の状態を確認する。	-	D	-	-	中	通話が可能であること。	原因を調査し対処。			
			電話収納箱	電話機等の機器収納 状態及び蛍光灯の点 灯状態。	Е	D	-	_	中	規定の位置に収納されていること。 蛍光灯が点灯すること。	原因を調査し対処。			
	案内板	全般	発錆、汚損	外観・内観を確認する。	Е	E	-	-	中	発錆、汚損、破損が ないこと。	状況により補修、清掃、 交換する。			
	消		数量	収納状態、数量の確認。	Е	Е	-	_	-	規定数量が納められて いるか確認。	不足の場合は補充。			
	火設	消火器	薬剤	薬剤の劣化状況確認。	Е	Е	-	_	-	消火器の対応期限を調査。	期限切れになる前に 消火器交換。			
	備		損傷	外観に損傷はないか。	Е	Е	-	-	-	ガラスの破損、変形、 脱落がないこと。	部品の交換。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表-3

別表-3

点検	箇所		LW-F-0	7:	令和 年度							
構成区分	体示	名称	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月日	月日	月 日	月 日	月日	月日	月 日	備考
<b>博</b> 成 色 刀	固力	<b>泊</b> 你	2007年17日		○点検							
			外観	_								
			表示灯の点灯	_								
		No1	接続状態									
非			発信者の確認	ı								
常	全般		電話収納箱	ı								
電	土川又		外観	ı								
話			表示灯の点灯	ı								
		No2	接続状態	ı								
			発信者の確認	ĺ								
			電話収納箱									

整理番号	
	│別表-3

点検	:箇所		b IA of D	, ,	令和 年度							
構成区分	箇所名称		点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月日	月日	月 日	月 日	月日	月日	月 日	備考
件,从巨力	回刀	和你	WK1 1/1	24-16	○点検							
		京都側	外観	_								
		から1	清掃	_								
		2	外観	_								
非			清掃	_								
常		3	外観	_								
電話	全		清掃	_								
案	般		外観	_								
内		1	清掃	_								
板		5	外観	-								
		J	清掃	_								
		6	外観	_								
		3	清掃	_								

トンネル名 八瀬トンネル

照 明 設 備(1/2)

点検実施 年月日

点検整備の種類 年点検

点検指示事項 Χ С W 交換 清掃 分解 Е 目視 Α М 調整 Τ Н 測定 増締 指触 D 動作確認 S

良否の判定 良 好 要調整 異 常

			******	~ 765 JE										
		点	魚 整 備		点検・		所と点	検方法	_				点 検 結 果	
	玄分	点検項目	点検内容	点検の目的 点検箇所 点検方法	定期 月 点 検	点検 年点検	臨時点検	定期整備		良否の判定方法 および 判定基準	不良時の処置 の方法	良否判定	点検結果の内容と提案事項の記述 備	考
			外観	器具外部の汚れ、損 傷、発錆の有無を 確認する。	Е	C, E	-	1		がないこと。	器具ガラス面の清掃。			
			据付状態	器具の取付金具やボル ト等の取付状態 の確認。	_	Е, Т	_	ı	中	取付金具やボルト等に緩 みがないこと。 損傷、発錆がないこと。	増締め。破損の場合は交 換。			
		全般	配線の状態	配線の接続状況調査。	-	Е	-	-	中	端子、端子台に緩みはないか。 配線に破損はないか。	増締め。破損の場合は修 理。			
照明			絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定する。	-	M	-	-	中	基準値以内であること。	原因を調査し対処。			
設備			接地	接地線の状態を確認す る。	-	Е, Т	-	-	中	接地線が正常に結線され ていること。	原因を調査し対処。			
		安定器	動作状態	正常に動作しているか 確認する。	-	Е	(E)	-	中	ランプにチラツキがない こと。	交換する。			
		久心師	異常音	発生音の確認。	_	E, S	-	ı	中	異常音がないこと。	交換する。			
		ランプ	点灯状態	点灯状態を確認する。	Е	Е, Х	-	-	中		不点灯箇所および異常箇 所はランプ交換する。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。 ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表-3

トンネル名 八瀬トンネル

点検実施 年月日

点検整備の種類 年 点 検

検 指 示 事 項 С 交換 W 分解 清掃 Ε 目視 Α Μ Τ 調整 測定 増締 Н 指触 良否の判定

○ 良好

△ 要調整

× 異常

	照 明 設 備(2/2)				年 点 検				A     調整     M     測定       D     動作確認	T     増締     H       S     聴覚	指触	□ □		
	<u>x</u>	点検項目	検 整 備 点検内容	備     点検・整備箇所と点検方法       点検の目的     定期点検       点検箇所     店       点検方法     点       点検方法     点       塩     塩       点     よよび       判定基準		不良時の処置 の方法	良否判定	点 検 結 果 点検結果の内容と提案事項の記述 備	考					
			発錆、汚損	外観を確認する。	検 E	検 C	-	- -	中	発錆、汚損がないこと。	補修、清掃する。			
	自		取付状態	取り付け金具やボルト 等の緩みの確認。	-	Е	-	_	中	取付、筺体に緩みのないこと。	増締めする。			
	動調光装	全般	配線の状態	配線の接続状況調査。	-	Е	-	-	中	端子、端子台に緩みはない か。 配線に破損はないか。	増締め。破損の場合は修 理。			
	置		絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定する。	-	M	-	-	中	基準値以内であること。	原因を調査し対処。			
			作動状態	タイマ等の遅れを確認 する。	Е	Е	-	-	中		清掃、補修。 部品交換。			
照	受光器	全般	発錆、汚損	外観を確認する。	Е	С	-	1	中	発錆、汚損がないこと。	補修、清掃する。			
明設備		盤面	発錆、汚損	外観を確認する。	Е	С	-	-	中	発錆、汚損がないこと。	補修、清掃する。			
			扉の開閉、施錠	保安面と機能面とによ り確認する。	1	Е, Н	1	1	中		調整し増締めする。 必要により鍵の交換。			
	照明盤		取付状態 汚損	外観を確認する。	Е	E	ı	ı	中		清掃、補修。 部品交換。			
	ini.	配線用	変色	外観を確認する。	Е	E	ı	ı	中	変色のないこと。	著しければ交換。			
		遮断機	開閉動作	開閉動作の確認。	-	D	-	-	中	開閉動作が正常出来るこ と。	交換する。			
			接続部	外観を確認する。	-	Е	-	-	中	端子、端子台に緩みはないか。	増締め。			

- ・臨時点検を行うときは「臨時点検」欄に点検方法を記入し用いる。(上表では、気象庁の震度階級が4以上の地震に見舞われた設備の例を示す。)
- ・定期整備の欄の数値は実施を考慮すべき経過年数の目安を示す。
- ・点検条件の記号は、中:運転中 休:休止中

別表-3

トンネル名: 二ノ瀬トンネル

点検	箇所			令和 年度							
構成区分	箇所名称	点検項目 点検内容	メーカー 基準値	月 日 ○点検	備考						
	全般	外観	-								
	生放	清掃	_								
	電源	入力電圧	$\mathrm{AC200V} \pm 10\%$								T-R
	电你	電流	75A以下								
	ブレーカー 1L	絶縁抵抗	1ΜΩ以上								
トン	ブレーカー 1R	絶縁抵抗	1ΜΩ以上								
ン ネ ル	ブレーカー 2L	絶縁抵抗	1ΜΩ以上								
照明分電盤	ブレーカー 2R	絶縁抵抗	1MΩ以上								
電盤	ブレーカー 3L	絶縁抵抗	1MΩ以上								
	ブレーカー 3R	絶縁抵抗	1MΩ以上								
	ブレーカー 4L	絶縁抵抗	1ΜΩ以上								
	屋外注意 表示板	絶縁抵抗	1MΩ以上								

別表-4-

青仟者	記録者
8170	

トンネル名:OOトンネル

令和 年 月日

分類     月点検・年点検)臨時点検・定期整備(年)・保全整備       作業期間     第											
作業期間   終 7   令和 年 月 日   点検対象設備リスト参照   点検対象設備リスト参照   点検対象設備リスト参照   点検対象設備リスト参照   点検が多数には関連を   表検   表検   表検   表検   表検   表検   表検   表		分 類	月点核	(年点検) 臨時点検・定	期整備(	年)・保全整備		名	称	仕様、規格等	設置年月日
・照明設備及び非常用設備一式の年点検作業		<b>化</b>	開始	令和	年 月	日		※設備名詳網	田は、別紙		
※点検内容の詳細は別紙「点検チェックシート」参照		IF 未 捌 间	終了	令和	年 月	日		点検対象設	:備リスト参照		
※点検内容の詳細は別紙「点検チェックシート」参照		•照明設備及	び非常用詞	•							
※点検内容の詳細は別紙「点検チェックシート」参照							量型	,			
作業 内容		※点検内容の	の詳細は別	紙「点検チェックシート」参照	Į		備	i			
管理運転       実施(連動運転、単独運転)、未実施         部品交換       実施(部品名: )、未実施         関連設備、土木構造物等の点検所見(必要に応じ写真を添付)         務       立会者         作業任者       作業者	作						名				
管理運転       実施(連動運転、単独運転)、未実施         部品交換       実施(部品名: )、未実施         関連設備、土木構造物等の点検所見(必要に応じ写真を添付)         務       立会者         作業任者       作業者	業										
部品交換     実施(部品名: )、未実施       関連設備、土木構造物等の点検所見(必要に応じ写真を添付)       設置年月日       空会者       作業責任者       作業者	容										
部品交換     実施(部品名: )、未実施       関連設備、土木構造物等の点検所見(必要に応じ写真を添付)       設置年月日       空会者       作業責任者       作業者											
部品交換     実施(部品名: )、未実施       関連設備、土木構造物等の点検所見(必要に応じ写真を添付)       設置年月日       空会者       作業責任者       作業者											
関連設備、土木構造物等の点検所見(必要に応じ写真を添付)								管理運転	実施(連動	协運転、単独運転)、未実施	
考       察       立 会 者       作業責任者       作業者								部品交換	実施(部品	品名: )、未実施	
察       立 会 者       作業者								艮	] 関連設備、土木	「構造物等の点検所見(必要に応じる。	(写真を添付)
察       立 会 者       作業者											
察       立 会 者       作業者											
察       立 会 者       作業者	考										
立 会 者  作業責任者  作業 者										設置年月日	
立 会 者  作業責任者  作業 者											
作業責任者 作 業 者	察										
作業者								立 会 者			
								作業責任者			
業者名								作業者			
								業者名			



